

2019 年度 東洋英和女学院中学部 入学審査問題 B

受験番号	写	氏名	
------	---	----	--

1 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

日本と朝鮮半島には長い交わりの歴史があります。文化・技術の交流や貿易がさかんに行われた時代もありましたが、戦争や侵略が行われて、関係が悪化した時代もありました。

縄文時代のおわりに、朝鮮半島や大陸から九州の北部に移り住んだ人々によって、米づくりが伝わりました。弥生時代になると、米づくりとともに①青銅器や鉄器などの金属器も伝えられました。

古墳時代になると、日本が朝鮮半島の南部に勢力を広げようとしたため、朝鮮半島の国々と戦争を行うこともありました。この頃の朝鮮半島は、高句麗・新羅・百済などの国に分かれて、たがいに争っていました。争いをのがれて、朝鮮半島から多くの人々が日本にやってきました。その人たちは（1）とよばれ、漢字や仏教、はた織り、焼き物作りなど新しい文化や技術を日本に伝えました。

②豪族のなかには、（1）との結びつきを強めて、大きな力をもつ者も出てきました。

6世紀のおわりから7世紀の初めにかけて、中国では隋、つづいて唐という強大な国家が成立しました。日本や朝鮮半島の国々は、中国にならって新しい国づくりを進めました。7世紀の中頃、唐は新羅と手を結んで、高句麗や百済を攻撃しました。日本は、百済を助けるために朝鮮半島へ軍を送りましたが、③唐と新羅の連合軍に敗れました。朝鮮半島は、7世紀の後半に新羅に、10世紀の前半に高麗によって統一されました。

13世紀の後半、中国ではモンゴル人がつくった元が勢力を強めました。高麗は元の命令に従い、二度の日本攻撃にも参加しました。14世紀になると、高麗は（2）とよばれる海賊の被害を受けておとろえ、かわって朝鮮という国がつけられました。朝鮮は、日本に（2）の取りしまりを求めてきたため、それをきっかけに正式な国交が開かれました。④こうして始まった日本と朝鮮との貿易は、16世紀の初めまで続きました。

16世紀のおわりに、日本を統一した（3）は、海外に目を向け、明を征服しようとしていました。しかし、朝鮮に協力を求めて断られたため、朝鮮半島に二度も大軍を送りました。突然攻撃された朝鮮では多くの被害がでただけでなく、たくさんの朝鮮人が日本に連れてこられました。17世紀の初め、江戸幕府は（3）の出兵によってとんでいた朝鮮との国交を回復しました。この後、⑤将軍が代わるごとに朝鮮からの使節が江戸をおとずれるようになり、貿易も再開されました。

明治時代になると、日本は朝鮮に国交を拒否されたため、武力を用いて開国させ、日本に有利な不平等条約を結ばせました。さらに、朝鮮半島から大陸に勢力をのばそうとし、1894年に朝鮮を従わせていた清と戦争をおこしました。日本はこの戦争に勝利し、朝鮮を独立させました。朝鮮はこの後、大韓帝国(韓国)と国名を改めました。

次に⑥日本は、朝鮮半島への勢力拡大をねらっていたロシアと対立を深め、1904年に日露戦争を

おこしました。その一方で、韓国の人々の抵抗を軍隊でおさえ、⑦1910年に韓国を併合して植民地としました。

1945年8月、朝鮮は日本が太平洋戦争に敗れたのと同時に、植民地支配から解放されました。しかしその後、朝鮮は大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)とに分かれて対立し、同じ民族同士による朝鮮戦争が起こりました。この戦争は現在でも休戦状態のままで、平和条約は結ばれていません。

日本は1965年に韓国との国交を正常化し、貿易だけでなく、人や文化の交流もさかんになっています。しかし、従軍慰安婦の問題や⑧領土問題なども残されています。北朝鮮とは、2002年に初の首脳会談が行われました。しかし、日本人の拉致問題や核兵器の開発などの多くの問題があり、国交正常化の交渉はまともなまま現在に至っています。

問1 下線部①について。右の写真は、おもに祭りの道具として使われた青銅器の一つです。何とといいますか。

問2 文章中の（1）にあてはまる語句を答えなさい。

問3 下線部②について。このような豪族を次から選び、記号で答えなさい。

ア. 中臣氏 イ. 物部氏 ウ. 蘇我氏 エ. 大伴氏

問4 下線部③について。663年に起こった、この戦いを何とといいますか。

問5 文章中の（2）にあてはまる語句を答えなさい。

問6 下線部④について。この貿易で朝鮮から日本に輸入され、船の帆や鉄砲の火縄、衣服に使われたものは何ですか。

問7 文章中の（3）にあてはまる人物名を答えなさい。

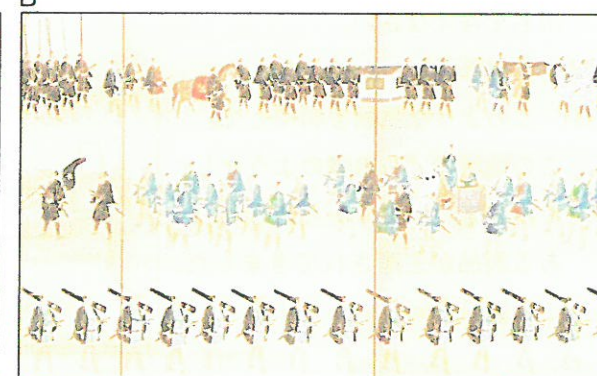
問8 下線部⑤について。

(1) 次の絵のうち、Aは朝鮮からの使節の様子、Bは参勤交代の様子を描いたものです。幕府は、朝鮮からの使節や大名が江戸まで来る様子を、あえて民衆に見せるようにしていました。これによって、幕府が民衆に示したかったことはどのようなことですか。

A



B



社会－2 B

(2) 朝鮮との貿易を幕府から許可されたのは対馬藩でした。対馬の位置を右の地図から選び、記号で答えなさい。

問9 下線部⑥について。ロシアの勢力拡大を警戒して、日本と同盟を結んだ国を答えなさい。

問10 下線部⑦について。植民地となった朝鮮半島の人々を「日本の国民」にするために行った政策を一つ答えなさい。

問11 下線部⑧について。日本と韓国がともに領有権を主張している場所を上の地図から選び、記号で答えなさい。

問12 日本と朝鮮は、ともに中国から「漢字」を受け入れて使いました。しかし、日本語や朝鮮語の音をあらわす文字がなかったため、独自の文字をつくりました。それぞれ何といいますか。

2 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

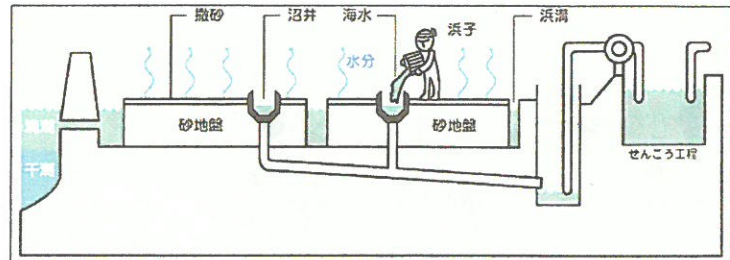
瀬戸内海は、中国地方と四国地方にはさまれています。その沿岸地域は、北になだらかな中国山地、南に①険しい四国山地があるため、②降水量が少なく、水不足になりやすい地域です。また、山地が海岸まで迫っているため、③平野が少なく、人々は生活するためにさまざまな工夫を行ってきました。

④穏やかな瀬戸内海では、古くから海上交通が発達してきました。そのため中国・四国地方は、瀬戸内海の海上交通によって強く結びついてきました。しかし、明治時代以降に鉄道輸送が、戦後は自動車輸送が発達する中で、⑤瀬戸大橋をはじめとした本州四国連絡橋が建設されました。⑥これらの橋は中国・四国地方の物流のあり方を変え、この地域の暮らしと経済に変化をもたらしました。近年では⑦情報通信技術（ICT）の発達や国の政策の後押しにより、さらに変化が見られます。

問1 下線部①について。四国山地に水源をもち、暴れ川として有名で「四国三郎」とも呼ばれる河川名を答えなさい。

問2 下線部②について。

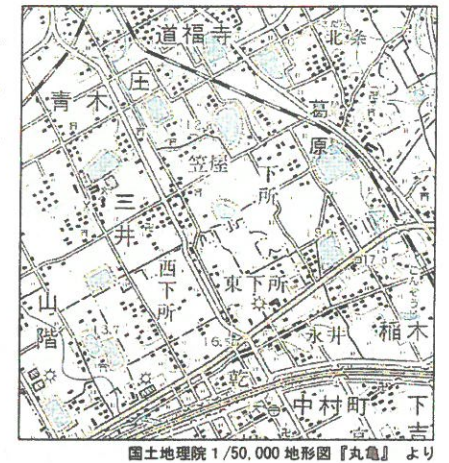
(1) このような気候を利用して、この地域では右の図のようなしくみの施設が古くから造られ、ある製品が生産されてきました。この施設を何といいますか。



山田まちづくり講座 HP より

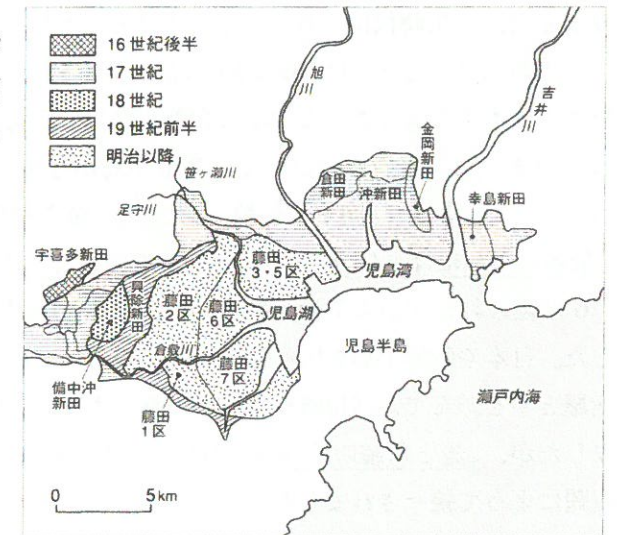
写

(2) 右の地形図は、瀬戸内海沿岸のある地域のものです。この地域では、古くから農業用水を工夫して確保してきました。それはどのような方法ですか、右の地形図を参考にして答えなさい。



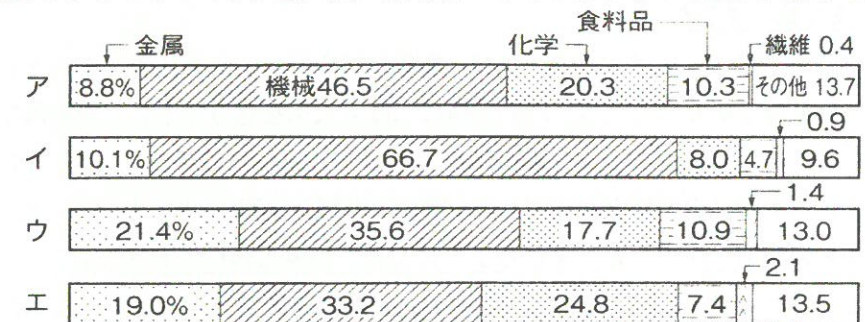
国土地理院 1/50,000 地形図『丸亀』より

問3 下線部③について。そのような地域の一つに児島湾があります。右の地図は、児島湾周辺の農地の拡大を表したものです。どのような方法で拡大したのですか。



『地図で読み解く日本の地域変遷』より

問4 下線部④について。この地域では海上交通の便が良く、原料や製品の輸送に便利だったため、瀬戸内工業地域が発展しました。次のグラフは、瀬戸内・京浜・阪神・中京の工業地帯・地域の生産割合を示したものです。瀬戸内工業地域にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

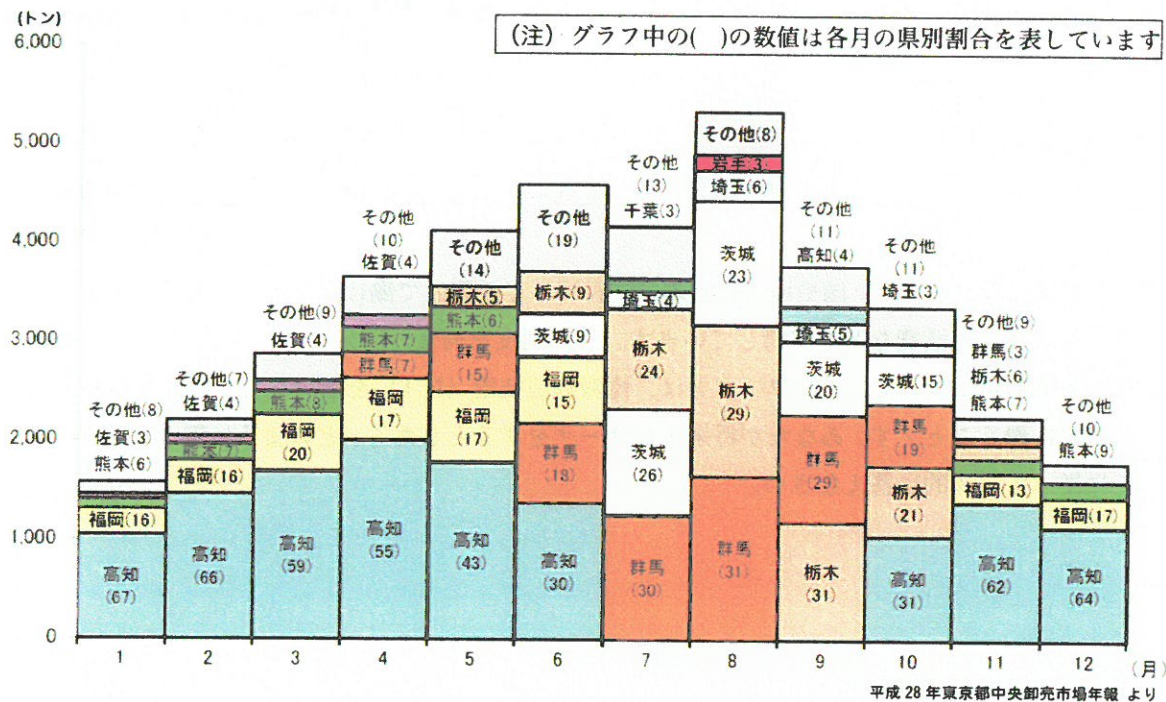


『日本国勢図会 2017/18』より

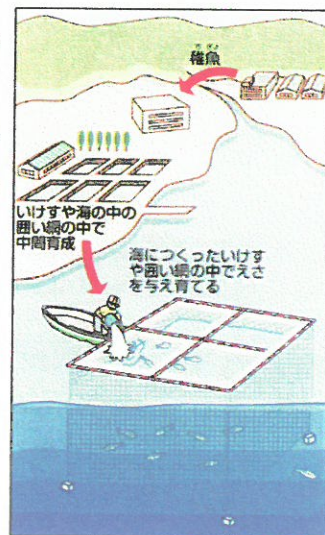
問5 下線部⑤について。瀬戸大橋は何県と何県をつないでいますか。

問6 下線部⑥について。橋の開通により、四国地方から東京へ出荷する農水産物の量が増加しました。

- (1) 下のグラフは、ある農作物の東京都卸売市場の月別入荷量を表したものです。この農作物は何か。
- (2) グラフを見ると、高知県の出荷時期は関東近郊の県と異なっています。それは、高知県が出荷する時期をずらして栽培しているからです。この栽培方法を何といいますか。



- (3) 右の図は、愛媛県で行われている「育てる漁業」の様子を示したものです。このような漁業を何といいますか。
- (4) 愛媛県が「育てる漁業」に適している理由の一つは、海流がミネラルや栄養を豊富にふくむ海水を運んでくるからです。この海流名を答えなさい。

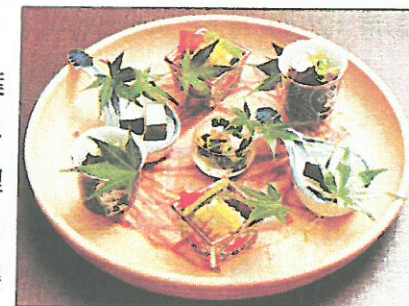


新学社 資料集 より



問7 下線部⑦について。

- (1) 65歳以上の割合が50%をしめる徳島県のある町では、「葉っぱビジネス」と呼ばれる産業が生まれました。このビジネスは山林の葉や花を収穫し、右の写真のように、日本料理を彩る「つまもの」として、都会の飲食店などに出荷するものです。「葉っぱビジネス」は、インターネットで情報を得て、近年売り上げを大きく伸ばしています。どのような情報を得ているのですか。



月刊『事業構想』HPより

- (2) 右は、愛媛県の今治タオルのブランドロゴです。今治タオルは、近年国内だけでなく、海外でも売り上げを伸ばしています。海外での売り上げが伸びたのは、日本製品の良さを売り込むために政府が行なった政策が大きなきっかけでした。この政策を何といいますか。



imabari towel
Japan

- 3 次の文章は、昨年の6月29日の夜に英子さんとお母さんが、ニュース番組を見ながら夕食の準備をしていた時の会話です。よく読んであとの問いに答えなさい。

お母さん：もうすぐお父さんが帰ってくるから、急いで準備しましょう。

英子さん：そういえば最近、お父さんの帰りが早いけど、どうして？

お母さん：「働き方改革」で、早く会社を出るようになったからよ。

英子さん：ねえ、お母さん、見て。ちょうど①「働き方改革関連法」のニュースをやってるよ！

「70年ぶりの大改革であります。長時間労働を是正していく。そして、②非正規という言葉を一掃していく。子育て、あるいは介護をしながら働くことができるように、多様な働き方を可能にする法制度が制定されたと、こう思っています。…略…」

～安倍首相の会見～

英子さん：お母さん、70年ぶりの大改革ってどういうこと？

お母さん：日本人の働き過ぎが大きな社会問題になってきたから、働く条件の最低基準を定めた(1)という法律を改正したのよ。

英子さん：お父さんも少し前までは、ずいぶん遅くまで働いていたものね。

お母さん：今回の改正では、残業時間を制限して、もしそれを超えて働かせたら、雇い主が罰せられるようになったのよ。

英子さん：でも別のニュースでは、労働力不足が深刻だっていっていたわよ。みんなで残業をやめたら、ますます人手が必要になるんじゃないかしら。

お母さん：だから政府は、働きたくても働けない人に、働く機会をつくろうとしているのよ。

英子さん：そのことと、人手不足がどう関係しているの？

社会－4 B



お母さん：お母さんの知り合いにも、子育てや介護が大変で、仕事をやめてしまう人がたくさんいるのよ。そういう人たちも、無理なく働ける環境が整えば、仕事をやめずにすむでしょ。

英子さん：でも、それだけで人手は足りるの？

お母さん：だから、日本でも（ 2 ）を労働者としてもっと積極的に受け入れるために、出入国管理法を改正することが必要だって、新聞にのっていたわ。

英子さん：お母さん、でもアメリカやヨーロッパでは、いろいろな問題が起きているみたいだし、日本が将来そうになったら困るわ。

お母さん：だから（2）の人権にも配慮しながら、受け入れ態勢をしっかりとつくっていかなければならないわね。ところで、あなたは将来どんな仕事をしたいの？

英子さん：そういわれても、何に向いているのか分からないし…。働かなきゃだめ？

お母さん：それはそうよ。日本国憲法では「すべて国民は、（ 3 ）を有し、義務を負ふ」と書いてあるんだから。

英子さん：憲法にそう書いてあっても、実際には就職できなかったり、会社をリストラされたりすることだってあるじゃない。

お母さん：だから国は、仕事を探している人に対して、ハローワークで仕事を紹介したり、再就職を支援する機関を設けているのよ。

英子さん：そうなんだ。でも近所のおじさんは、病気でもう働けなくなっちゃったみたいだけど、そういう時はどうなっちゃうの？

お母さん：③そういう時は、国や地方自治体がちゃんと支援してくれるしくみがあるの。

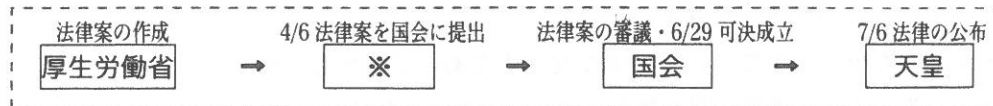
英子さん：ねえ、お母さん、私が大人になる頃って、働き方はどう変わっているのかしら。

お母さん：今以上にAI（人工知能）が発達して、新しい仕事や働き方が生まれるんじゃないかしら。
④テレワークをしている人もどんどん増えているし、国や企業はもっと普及をすすめていくみたいよ。

英子さん：そうなんだ。お父さんがテレワークをしたら、うちもずいぶん変わるわね。あ、お父さんが帰ってきたみたい。おかえりなさい！

問1 文章中の（ 1 ）～（ 3 ）にあてはまる語句を答えなさい。

問2 下線部①について。次の図は、この法律の成立過程を示したものです。

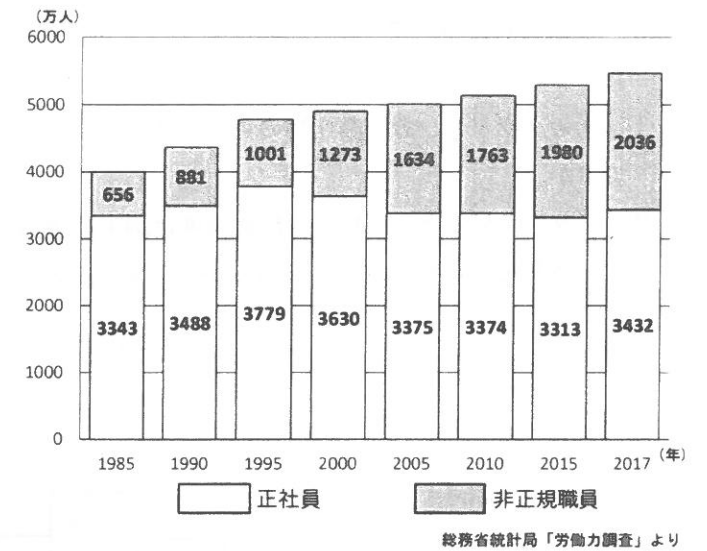


(1) 図中の「※」にあてはまる機関を答えなさい。

(2) 国会には種類があります。この法律が成立した国会を次から選び、記号で答えなさい。

ア. 通常国会 イ. 臨時国会 ウ. 特別国会 エ. 緊急集会

問3 下線部②について。この発言の背景には、正社員と非正規職員の待遇の格差があります。右のグラフは、正社員と非正規職員の雇用数を示したものです。企業がグラフのような割合で雇用するようになってきたのはなぜですか。



問4 下線部③について。国や地方自治体は、病気などの理由で働けなくなり、生活に困っている人に対して、生活費などを支給しています。この制度を何といいますか。

問5 下線部④について。テレワークとは、情報通信技術（ICT）を活用して、時間と場所にとらわれずに働くことです。あなたが将来テレワークをしたら、どのように働きますか。解答欄に従って具体的に答えなさい。

1	問1				問2			
	問3		問4					
	問5				問6			
	問7							
	問8	(1)						
		(2)						
	問9							
	問10							
	問11							
	問12	日本				朝鮮		

受験番号	写	氏名			
------	---	----	--	--	--

2	問1				
	問2	(1)			
		(2)			
	問3			問4	
	問5	県と 県			
	問6	(1)		(2)	
		(3)		(4)	
	問7	(1)			
		(2)			

3	問1	(1)	(2)	
		(3)		
	問2	(1)	(2)	
	問3			
	問4			
問5	どのような時間		どのような場所	

